

平成30年度事業報告

[はじめに]

平成30年度、公益事業において、千葉県福祉ふれあいプラザの指定管理事業では、指定管理（13年目）第3期の最終年を迎え千葉県高齢者保健福祉計画の重点課題に基づき県民に愛される施設を目指し取り組んだ結果、年間総利用者数は20万人を超え総利用料も予算達成できました。そして指定管理第3期5年間の実績を評価され第4期指定管理を獲得できました。

また、港区アクティブシニア就業支援センター「みなと＊しごと55」は8年目を迎え、きめ細かな取組みにより就職者数、求人件数・人数において前年実績を上回り、都内12のアクティブシニア就業支援センターの中で第2位の就職者数を誇り、その存在感を示しています。第三者評価事業は中期計画2年目の取組みを実施し予算は大幅達成し昨年度実績を上回る評価を受注しました。コミュニティカフェは「コミュニティカフェ開設講座」に加え新たな試みとしてコミュニティカフェ開設者を対象とした「実践講座」を行ない多数の参加者が集まり会員獲得へ繋がりました。そして会員へ多くの情報を提供するために「ふれあいねっと瓦版」創刊号を発行しました。

収益事業は、柱のひとつである「高齢者疑似体験事業」においては新たな顧客は確実に増え続けているものの自治体、企業等の経費削減等もあり「販売」「貸出」等の実績は昨年度を割り込む結果となりました。「認知症疑似体験プログラム」は世の中の関心を反映して照会が多く事業収入に繋がりました。一方、受託研修事業は、就労支援に向けた研修事業を新たに東京しごと財団より受注でき、この事業が事業収支に大きく貢献しました。

会員の動向に関して

《個人会員》

平成 31 年 3 月末時点での個人会員は 1,150 人で、内訳は（正会員 135 人、賛助会員 765 人、配偶者会員 250 人）です。

会費納入した会員数内訳：

個人正会員 93 人（男 51 人、女 42 人）
個人賛助会員 480 人（男 209 人、女 271 人）

《法人会員》

平成 31 年 3 月末時点での法人賛助会員は 13 団体です。また、団体賛助会員は 6 団体です。

法人	賛助会員	久光製薬(株)、トッパン・フォームズ株式会社、(一社)日本青少年育成協会、(一財)高齢者住宅財団、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(一社)日本健康麻将協会、(一社)コミュニティネットワーク協会、NPO 法人東京山の手まごころサービス、(一社)日本産業カウンセラー協会、NPO 法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構、NPO 法人 SSS ネットワーク、YKK AP (株)、名古屋大谷高等学校
団体	賛助会員	NPO 法人日本心身機能活性療法指導士会、東友会関東支部、NPO 法人りすシステム、(公財)さわやか福祉財団、NPO 法人ナイチンゲール、さをりひろば

事業に関して

【公益事業報告】

〔公1事業〕

≪高齢者福祉増進・啓発事業≫

○高齢者の福祉・健康・いきがづくり等支援事業 (千葉県福祉ふれあいプラザ指定管理)

千葉県福祉ふれあいプラザ（ふれプラ）の指定管理者として法令を順守し、承認された事業計画に基づき、NPO 法人 ACOBA との共同事業体で運営しました。

30年度は第三期指定管理(平成26年4月1日～平成31年3月31日)の最終年であり、次期指定管理の申請年でもありました。また、施設運営の根拠となる千葉県高齢者保健福祉計画(平成30年4月1日～令和3年3月31日)は初年度で、ふれプラに対する目標値に介護予防トレーニングセンター利用者数が設定され、県の施設として市町村連携と全県的な活動が引き続き要望されていました。

要望に応えるべく事業展開を図った結果、全県的な活動は出張研修を40回2千人弱の参加を得ましたが、トレーニングセンターの人数は目標値4万3千人に届きませんでした。但し、年度末3月の利用者数が直近2年半で最高の数字を上げる等利用者増の対策は効果を上げています。全体的には4年連続20万人を超え、総利用者数・利用料収入ともに昨年度を上回りました。

千葉県による指定管理運営状況の評価(平成29年事業)において4年連続「優良」の総合評価を受けました。平成30年度利用者アンケートの結果、施設全体の満足度は73%となり、昨年度68%から4%上がりました。開館から13年が経過して設備備品の劣化対策が課題ですが、29年度のホールのプロジェクター買替に続き、30年度はトレーニングセンターのマシン6台の買替が実行されました。

第四期指定管理(平成31年4月1日～令和4年3月31日)申請は、これまでの実績評価を考慮してNPO 法人 ACOBA と共同事業体で行いました。結果、県から高評価によって指名され、昨年12月県議会で承認され、3月に県との協定書を締結しました。

	30年度予算	30年度実績	29年度実績
総利用者数(人)	200,000	203,695	202,051
利用料収入(円)	25,900,000	26,088,360	25,958,240
収支(円)	0	2,848,117	1,932,951

*収支WAC分75% 2,136,087円

○福祉サービスの質の向上事業

(第三者評価事業)

本年度の事業業績は、収入予算 7,500 千円に対して、実績は 16,403 千円でした。受託件数は 50 件で、契約先の内訳は、品川区 1 件、目黒区 3 件、墨田区 3 件、渋谷区 2 件、台東区 20 件、民間 21 件でした。今年度も行政の受託が多く、昨年並みの受託となり、就労継続支援 B 型、認証保育所等新しいサービス分野の取組みもできました。

サービスの内訳は、認知症高齢者グループホーム 6 件、特別養護老人ホーム・ショートステイ 18 件、通所介護 8 件、居宅介護支援 6 件、訪問介護 2 件、就労継続支援 B 型 1 件、認証保育所 4 件、児童養護施設 1 件、利用者調査 4 件です。

その他、港区独自の介護予防施設の第三者評価を WAC 事務局で実施しました。

収支は人件費等の経費をカバーし、目標達成しました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
16,408	15,634	774
(港区独自) 2,052	487	1,565
(合計) 18,460	16,121	2,339

○長寿社会の啓発事業

(「ふれあいねっと(会員向け情報誌)」の発行)

5月31日に275号を発行し、29年度のコミュニティカフェ開設・交流支援事業(認知症カフェ・ケアラズカフェ開設講座、千葉・東京のコミュニティカフェ開設講座、コミュニティカフェ全国交流会)を特集しました。また、ほかの主要事業の平成29年度を振り返りました。

9月20日に276号を発行し、定時総会の模様や全国のWACポイント・43拠点の活動一覧などを掲載しました。

3月30日に277号(かわら版)を発行し、一部ポイントの活動や法人会員のサービスの紹介、主要事業の報告、高齢社会や健康に関する話題などを掲載した。かわら版は経費節減と発行回数増を目的に4頁で作成しました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
0	1,436	△1,436

〔公2事業〕

《高齢者の雇用・就労支援事業》

（「みたと*しごと55」港区アクティブシニア就業支援センター）

求職者数は昨年とほぼ同数でしたが、就職者数は昨年比約13%のアップとなりました。日々の相談業務において積極的に求人を案内し紹介を行ったこと、また、その為に求職者のニーズに合いそうな求人を積極的に開拓してきた結果、求人件数が約19%アップ、求人人数が約13%アップとなったことに起因すると思われま

す。具体的施策は、求職・求人の集客のためにポスティングを実施しました。新規求職者67人、新規事業所が31事業所の集客となりました。

ハローワーク品川での出張登録説明会は5月・10月・1月・3月に1回ずつ、セミナー・面接会のスケジュールに合わせて実施。求職者・求人事業所ともに認知していただきました。

今年度は再就職支援セミナーの集客が非常に好調でしたが、なかなか合同面接会での集客は不調でした。現職のあるセミナー受講者が増えてきたことと、あふれる求人情報で、あえて面接会に行かなくても就職活動が可能になってきている状況と考えられます。それを挽回すべく、前述の通り、来所した求職者に複数の求人案件の紹介を行うよう努力しました。

併せて、ホームページの求人情報の充実を図りました。求職者のニーズに近い求人を多く掲出することに注力しました。また同様の求人が頻繁に求職者の目に届くようにメールマガジンの配信に注力し、90件以上の問い合わせがあり、効率よく就職に繋がりました。

新しい試みとしては、東京都主催のシニアしごと EXPO にも参加・協力。効果的な PR となりました。

求職者数：1,823人（前年1,827人、前年比99.8%）

求人件数/求人人数:2,051件/4,276人(前年1,728件/3,790人、比118.7%/112.8%)

紹介件数：575件（前年556件、前年比103.4%）

就職者数：229人（前年203人、前年比112.8%）

（単位=千円）

収入実績	支出実績	収支実績
24,604	24,604	0

〔公3事業〕

《地域の相互扶助機能活性化事業》

（コミュニティカフェ）

平成30年度は自主事業として、東京でコミュニティカフェ1day講座を2回、千葉市で千葉県福祉ふれあいプラザの出張県民研修としてコミュニティカフェ開設講座（全7

回) を 1 期開きました。1day 講座は、「開設に向けた一歩が踏み出せない」という過去の受講生やコミュニティカフェの基礎的なことは知っているという人の開設を後押しが目的の講座です。合計 73 人 (単回参加も含む) が受講しましたが、東京圏外の秋田・山梨・長野・三重・鹿児島から通った受講生もいました。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
387	507	△121

【収益事業報告】

〔収 1 事業〕

≪高齢者福祉関係人材育成事業≫

・介護職員初任者研修 (通信)

介護職員を人員不足の解消のため、東京都福祉人材センターが介護の資格をもっていないが介護職として働きたいと思っている人を対象に、福祉人材センターに登録し、介護の職場体験をしたのちに、介護職員初任者研修を受講できる。職場体験と、介護職員初任者研修の申し込みの締め切りが、決められているため、なかなか受講生が集まらなかったが、知り合い等に声掛けをして受講生を集めました。

開催日時： 平成 30 年 10 月 26 日～平成 30 年 12 月 10 日 7 名 1 名が都内福祉事業所へ就職

・生活支援サービス 介護予防・日常生活介護にかかわる生活支援のために担い手の育成事業

① 福祉・家事援助サービス事業「生活支援サービス研修」委託事業

シルバー人材センターの会員に、介護予防・生活支援総合事業の訪問型 A の家事援助サービスを行う担い手育成の研修を開催しました。平成 27 年、28 年、29 年と入札にて受託しており、今年で 4 年目となります。飯田橋と国分寺の 2 会場にて年 6 回開催。

5 月 16 名、7 月 31 名、9 月 27 名、11 月 29 名 1 月 21 名 3 月 30 名

合計 103 名

② 八王子市生活支援ヘルパー研修委託事業

6 月 46 名、9 月 27 名、11 月 25 名 2 月 25 名 参加人数合計 98 名にて開催

八王子市民対象の介護予防・生活支援総合事業の訪問型 A の担い手育成のための 2 日間の研修を年 3 回行いました。研修修了後は市内の訪問型 A のサービスを行っている訪問介護事業所との就職相談会を開催しました。

・委託事業

① シニア生涯ワーキングセミナー委託事業

55歳以上の方でこれから就職活動を始めたいと考えている方、就職活動中の方を対象に都内60会場にて、退職してからのライフプランと再就職の現状と考え方を学ぶセミナーを開催しました。参加人数は約2,000人。

② 八王子市介護従事者再就職支援研修

介護の資格をもっているが、現在介護職としては働いていない八王子市民対象に、介護職として働くための研修を行いました。研修修了後に就職説明会を行い、八王子市の介護事業所への就職を目指しました。

1月31日と2月8日に開催 受講者数 14名

就職者数1名

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
32,069	28,898	3,171

〔収2事業〕

《高齢者・認知症疑似体験事業》

・高齢者疑似体験

高齢者疑似体験事業は、行政・企業の研修費用削減などの影響もあり、収入実績は昨年度を割り込む結果となりました。しかし、新規依頼は継続的にあり、利用者からも高い評価を得ており、「うらしま太郎」への潜在需要は大きいと思われます。30年度はうらしま研修およびイベントは年間22件実施し、うち、新規依頼が7件でした。つくし君は、台東区からの委託事業で小学校16校903人に体験してもらった他、北区社協や一宮町役場からの依頼に対応しました。販売では、毎年実施している1月～3月のキャンペーンに加え、8月に片側麻痺特別キャンペーンを行い、10セットを売りあげ、9月に実施したうらしま太郎特別キャンペーンでは4セット販売することができました。

うらしまインストラクター養成研修は、本部では6月7日・8日(受講者15人)、10月4日・5日(受講者21人)、3月7日・8日(受講者19人)、出張研修として高知県社協で5月17日・18日(受講者36名)、社内限定インストラクター研修としてトッパン・フォームズ(株)で8月31日(受講者17名)の計5回実施し、108人のインストラクターが生まれました。

・認知症疑似体験

認知症疑似体験に関しては、昨年度に引き続き多数の問合せがありました。研修は 7 件 8 回、イベントは 6 件実施しました。実施した 13 件のうち新規依頼が 12 件で、今後も新規マーケットの開拓が期待できます。

販売については、岡山県立大学、小松大学、東京医科歯科大学および（株）ふれあいサービスセンターの 4 箇所に対し、18 台を納品しました。インストラクター研修は購入先に対し、本部で 1 回実施しました。

(単位=千円)

	収入実績	支出実績	収支実績
高齢者疑似体験	14,394	10,585	3,808
認知症疑似体験	2,661	2,376	285

〔収 3 事業〕

《介護予防事業》

(品川区委託事業)

・健康マージャン

高齢者の仲間づくり、生きがいくりの場として自治体との協働でのマージャン教室を設置し、これを年間通じ、さらに年度を越え継続して運営することにより、高齢者の継続的社会参加を実現し、介護予防に寄与しています。

・男の手料理教室、わくわくクッキング、食事処

高齢者の介護予防事業として、品川区からの委託を受けて開催しました。

男の手料理教室は、平成 18 年度から開講、30 年度は 59 人でした。

地域活動連携型介護予防事業（わくわくクッキング）は、平成 24 年度から開講、30 年度は 3 コース開催し、年間延べ参加人数 470 人でした。

外出習慣化事業（大井林町食事処）の 3 コースは、年間を通じて開催しました。平成 25 年度から開講、年間延べ 180 人の参加です。

西大井いきいきセンターのレストランは平成 27 年 8 月にオープンし、今年 4 年目を迎え毎週開催しています。

(単位=千円)

収入実績	支出実績	収支実績
7,010	7,618	△608